

公益社団法人日本発達障害連盟

2021(令和3)年度 事業計画

開発途上国および本邦の発達障害者の社会統合を目的として以下の事業を実施する。

公益事業

ア、開発途上国支援事業

ア-1、研修事業

事業の実施予定なし。

ア-2 情報提供事業

アジア知的障害連盟に加盟する団体等から優れた研究・実践を収集し、データベースとして情報提供する。

ア-3 開発途上国で実施する事業

- 1 障害者と貧困者のための医療セイフティネット創りーパイロット事業
事業廃止
- 2 開発途上国の非営利団体活動支援のために人材を派遣する事業
2021年度は現地からのニーズが無いため実施の予定なし。

イ、国際交流事業

イ-1 アジアおよびその他地域の関係者との連携強化

2021年11月15～18日にフィリピンのマニラにて開催するアジア知的障害会議にオンラインで参加する。

ウ、日本国内の発達障害者の生活向上と社会統合をめざす事業

ウ-1 発達障害福祉月間の実施

内閣府主催の12月に実施される障害者週間セミナーへエントリーするとともに、全国の関係機関へ啓発事業の実施を呼びかける。

ウ-2 情報提供事業

- 1 発達障害白書の2022年版の編集
明石書店より出版する。B5版 216ページ 9月発行予定。

また、以下の刊行物を編集、発行、頒布する。

【本年度新規発行】

発達障害医学の進歩 33 4月発行予定

-2 JL ニュースの発行

国内外の情報を提供することを目的として、隔月（136—141号）および号外1号を発行し、関係団体（者）に配布する。テーマは、医療、教育、福祉、法改正、国際協力等
A4版8ページ 5月6,000部/号、7、9、11、1、3月600部/号、号外号8,000部
ホーム・ページの充実

ホーム・ページおよびフェイス・ブックを充実させ、正会員の研修等の情報も掲載し、さらなる情報提供に努めると共に事業協力者の獲得をはかる。

ウ-3 研究・啓発事業

-1 発達障害医学セミナーを配信または集合研修にて開催する。

テーマ：発達障害児の内科・感覚器合併症の理解と対応

日 程：未定

-2 発達障害自閉症セミナーを配信または集合研修にて開催する。

テーマ：未定

日 程：未定

テーマ：発達障害児・家族に関わる支援者を伸ばす実践セミナーを配信と集合研修を
組合せて開催する。

日 程：未定

集合研修場所：未定

ウ-4 調査、資料収集、研究事業

実施の予定なし。

ウ-5 事務所賃貸事業

本連盟と同様の目的で活動する非営利団体に事務所および会議室を賃貸する。

その他の活動

組織の運営・強化

(1) 正会員の拡大

(2) 準会員の拡大

(3) 賛助会員の拡大

(4) 寄付金獲得

企業などへのアプローチ

(5) 委員会の設置

あり方検討会より提案のあった委員会を設置し、組織の見直し、事業のあり方などを検討していく。

(6) 総会・理事会の開催